

# 世界一大きな授業 2015

すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

4月26日(日) ~ 5月31日(日) 開催

2015年までに  
誰もが小学校を卒業  
できるようにする。  
今年が約束の期限です！

世界 100 か国以上の子どもたちと一緒に、**教育**について考える授業をしよう！

現在、世界で小学校に通えない子どもは 5,780 万人、読み書きができない大人は 7 億 8,100 万人もいます。国際社会は 2000 年に、すべての子どもと大人に基礎教育の権利を保障するために、「万人のための教育 (Education for All)」目標を定め、2015 年までに達成することを約束しました。

「世界一大きな授業」とは、世界の教育の現状を世界中で同じ時期に学び、教育の大切さについて考えるイベントです。今年も世界 100 か国以上で開催し、参加者の声を各国政府に届け、教育政策に反映するように働きかけます。「すべての子どもに教育を」を合言葉に 2003 年にスタートし、2008 年には 885 万人が参加、ギネス記録にも認定されました。日本でも 2014 年には約 7 万人が参加しました。

学校に通えない子どもたちの現状を知り、日本の私たちにできることを考えてみませんか？

## 参加型の教材を提供します

総合的な学習の時間、国際理解教育に。教育の大切さを実感しながら学ぶことができます。

- ✎ 首相・外務大臣へメッセージを書くと、JNNEが日本政府に届けます。
- ✎ 教材は複数のユニットで構成され、小学生から大人まで学べる内容です。
- ✎ 教材には、日本語版と英語版があります。
- ✎ ノーベル平和賞受賞者マララ・ユスフザイさんのスピーチをもとにした教材もあります。



小笠原村立母島小学校

高熱で  
苦しむお母さん  
にどれを飲ませた  
らいい？



なぜ、私達が「強い」と呼んでいる国々は戦争をすることには力を注いでしまうのに、世界を平和にすることに努力しないのでしょうか？  
なぜ銃は簡単に与えてしまうのに、教科書は与えないのでしょうか？  
なぜ戦車は簡単に作ってしまうのに、学校は建てないのでしょうか？

2014年ノーベル平和賞授賞演説より



©Alexandra Kensland Letelier / Plan  
マララ・ユスフザイさん

## 参加者募集中

4月26日(日) ~ 5月31日(日)の期間内に、授業案に沿って45分程度の授業を実施していただける方を募集しています。授業の場は学校に限らずサークルやグループなど、どなたでもご参加いただけます。授業案や資料は申込み後、事務局よりダウンロードURLをE-mailでご案内します。

申し込み〆切：2015年 5月25日(月)

参加費：無料 ※申込方法・フォームは裏面をご覧ください。

## 「世界一大きな授業」2015

主催：教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) <途上国で教育協力を行う NGO 23 団体のネットワーク>

共催：プラン・ジャパン

助成：庭野平和財団

協賛：リコー社会貢献クラブ・FreeWill、KUMON English Immersion Camp

協力：地球対話ラボ

後援：文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、動く→動かす、国際協力機構、国際連合広報センター、ガールスカウト日本連盟、児童労働ネットワーク、なんとかしなきゃ！プロジェクト、ボーイスカウト日本連盟

\*「世界一大きな授業」は JNNE に参加する次の団体が実施しています。

開発教育協会、グッドネーパーズ・ジャパン、シャンティ国際ボランティア会、日本 YMCA 同盟、プラン・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども

**jnne**  
教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)